

# 石炭産業の長期安定を

## 緊急に行政指導行なえ

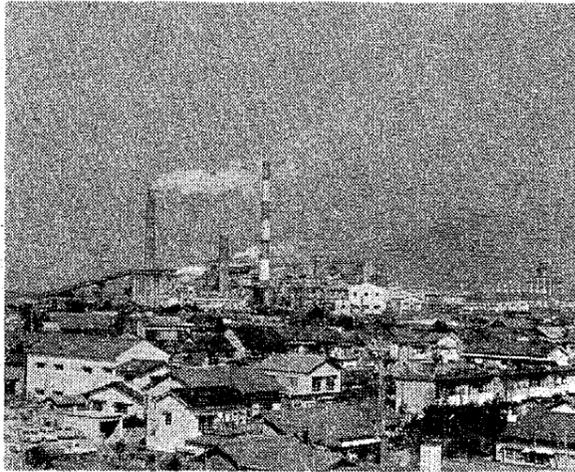
### 炭労、危機打開で対政府要求

要求は、次の通り。

政府・資本の打ち続く閉山、企業縮小などの合理化攻撃を受け、現在わが国の石炭産業は揺らぎ続けている。

この恐るべき危機の中で、炭労は政府に対し、昨年の十月すでに、第五次石炭政策の早急な確立を要求するに至り、石炭産業の危機に積極的な何の対策もとらなかった。

だが、打ち続く閉山を見過ごすことができず、炭労は去る三月田中角栄通産相に対し「事態の深刻さを自覚し」、当面の危機打開のためだけに責任ある処置を講ずるよう要求した。



十條八代工場も、合理化と闘っている

- 撤回する行政指導を行なえ。
- 美唄鉱に対し、政府調査団を派遣し、現地の声を聞け。
- 同鉱への、必要な資金援助措置を講ずること。
- 災害口実閉山防止のため、朝日鉱に対する、具体的な救済措置を講ずること。

### 十條製紙でも合理化攻撃が

石炭産業からはいまじつたスクラップ・アンド・ビルドの合理化攻撃が、いまや全産業に広がっているが、中でも紙パルプ産業の十條製紙では、かくべつさきまじい。例によって、ドル・ショックを口実とするのだが、工場の整理統合、企業体質改善によって「年間売上高の五〇〇アップと利益の急増を目指す」という。労組は、労働者犠牲の合理化は反対だと、団結を固めている。

## 三池の火受け継ぎ 職場で生き生きと

まなぶ全国協議会

会長 斉藤

第九回「三池にまなぶ会」全国集会に際しては、心からの受け入れ、交流、大変ありがたうございませぬ。三池の労働者―そこから私たちが学びました。

三池三日という短い期間ではありましたが、真に働くものとしての連帯に交えられた交流の中で多数多岐の意見を交換することができたことを厚くお礼申し上げます。

今回の集会には、全国三十九都道府県・三百四十九名という、これまでにならぬ多くの仲間が集まることができました。身体の中、生活の中にしっかりと根づいた「まなぶ会」を中心とした組織的な参加とともに、資料にもとづいた事前の学習により、心だとも一つの大きな特色として、率直に申し上げて、想いを語りあうことが、そこには

### 背景の諸闘争と結合し

## 〇〇闘争へ決起を

### 対立はどこで

政府は、三月一日より、それまで経過観察患者として治療を継続していた、大連市で発生した、〇〇中毒患者十四名(三十八年十一月九日の大爆発による〇〇患者)のうち二十三名を「これ以上治療しても治らな

い」という理由で、その治療と生活補償を打ち切った。この打ち切りにより、二十三名の〇〇患者の人たちは、〇〇中毒の症状と後遺症とで、治療と生活の両面から苦しめられることになり

ます。しかし、社会復帰訓練を実施する

と、政府・会社に対して要求し、交渉も強力に進めてきました。だが政府は、ついに、二十三名に対する労災補償を打ち切った。組合は、「まだ職場に復帰できる状態ではない」との主張に対し、「政府として、今後一年間は社会復帰訓練を実施する」と、妥協してきました。

「死ね」ということと同じです。赤軍派の青年と連帯しては、直接接人の命に手を下すか、間接的にそれを行うか、の違いだけで、人命を奪うという意味ではまったく同じです。

また、三井は「いや、政府の行う社会復帰訓練だから、会社は補償できない」といって、「一日当たり三百円までは考へよう」といっています。

組合は、「政府の五百五十円と三井の三百円の、計八百五十円では最低生活も維持できません。少くとも当面、坑外で働く人と同様ま

た、三井は「いや、政府の行う社会復帰訓練だから、会社は補償できない」といって、「一日当たり三百円までは考へよう」といっています。

「死ね」ということと同じです。赤軍派の青年と連帯しては、直接接人の命に手を下すか、間接的にそれを行うか、の違いだけで、人命を奪うという意味ではまったく同じです。

また、三井は「いや、政府の行う社会復帰訓練だから、会社は補償できない」といって、「一日当たり三百円までは考へよう」といっています。

組合は、「政府の五百五十円と三井の三百円の、計八百五十円では最低生活も維持できません。少くとも当面、坑外で働く人と同様ま

た、三井は「いや、政府の行う社会復帰訓練だから、会社は補償できない」といって、「一日当たり三百円までは考へよう」といっています。

## あと1周走る覚悟

まなぶの皆さんにこたえる

三川指導部 藤村幸生

地域には、うそのどちらのことも、こたえてやれません。私は、交流のための資料にと、みいけ二〇年、を読みました。それは、三池労働者の何かがわかってきた新米分會長なのではないかと、私には、これまでの自分を振り返って見ました。

私も、初めの交流で、考えている事をうまく口で表現できなかった。三池の火」を拡める闘いの先頭にたつことも、基本的には自らの家庭、自らの職場・地域における闘いを半歩でも一歩でも強めていくことこそが、三池のみさんの期待にこたえる道であると確信します。そのために、もう一人の仲間を「まなぶ会」に組織するよう、全力をあげて取り組んでいきたいと思

### 背景はどうか

この社会的な視野を見れば、切迫した状況に陥った労働者に犠牲を強いること、乗っ取りとばかり、米中雪解けムードの中であえて孤立してはならない、台湾にしがみつき、その姿勢から自衛隊の無法な立川基地進出となり、沖繩にタマシチ的な移住を目的し、軒をたたく公共料金の値上げを強行し、国民全体の生活と権利をおびやかしています。

これは三井三池に見られる合理化は、労働条件の向上の面では一つの好条件もつくり出してはいないのだから、多数の採炭工を、二万円〜三万円も値下げにな

### 〇〇カンパ

これはありがたい。聞けば、毎日受ける賃金の千七百九十九円のうち、一円硬貨の四円をためていたのが、約半年でこれだけたまった。一円硬貨の山だ。

豆ニユース、四次防予算先取り、立川基地へ挨拶打ち移駐、沖繩へもへり輸送……自衛隊相次ぎ暴走。

えたら計五百二十円也。

新幹線閉山まで伸びる。「〇〇」は西へ、「」運賃は値上げへ